

新文化会館建設の是非について

1 市の基本的考えについて

以下の理由から、**新文化会館の建設は市として必要**と捉えています。

- ・日光市の文化振興の一翼を担う施設として、文化会館は、今後も必要となる施設。
- ・現在の今市文化会館の老朽化の度合いを考慮すると、今市文化会館を大規模修繕して使用するより 建替えた方が、メリットが大きいと考えられる。
- ・機能面において、道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣 多目的ホールでは、今市文化会館の代替として不十分である。
- ・今までの関係団体や議会等における会議において、否定的な意見がなかった。

2 整備にあたって重点的に検討及び検証する項目について

① 求める機能及び規模について

- ・「市として文化会館をどう位置付け、どう活用していくか」といった施設の存在意義を定めて、必要な機能を検討する。
- ・長期視点にたち、将来にわたり日常的に利用される施設ための付加価値を検討する。
⇒ 観光誘客や産業振興、地域交流に資する機能との複合化を検討する。
- ・道の駅日光（多目的ホール）と差別化を図る機能を検討する。

検討結果に基づき案を作成

- ・日光市の人口規模や財政状況等を鑑みて適切な規模となっているか検証する。
- ・日光市の文化会館として相応しい機能となっているか検証する。

② 整備候補地について

- ・市所有の未利用地を優先し、候補地を検討する。
- ・機能面での効果を十分に発揮でき、公共交通等の有無など周辺環境を精査したうえで適地を検討する。

検討結果に基づき案を作成

- ・整備予定地の周辺環境や規制等の課題を整理したうえで検証する。
- ・整備予定地において、付帯工事が必要となるか検証する。

③ 整備手法及び運営、保守管理方法の検討について

- ・民間活力を導入することで、整備、管理、運営コストの削減やサービス向上が図れるか検討する。

令和5年度中を目途に文化会館整備に関する具体的な基本方針を定める